

* * *

お詫びと訂正

『腎と透析』第72巻4号（特集：透析患者の合併症ケア2012-診断とその対策）の論文中に誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに下記訂正をお願いいたします。

論 文：539～543 頁 消化管の機能異常とその対策（著者：青柳一正先生）

訂正箇所：541 頁 表3

誤：

正：

表3 食欲不振をきたす疾患

1. 消化器疾患
 - 口腔疾患：口内炎，歯肉炎，舌炎
 - 食道疾患：食道癌，GERD，食道アカラシア
 - 胃疾患：胃炎，胃潰瘍，胃癌
 - 腸疾患：十二指腸潰瘍，炎症性腸疾患，大腸癌，イレウス
 - 肝疾患：急性肝炎，肝硬変，肝癌
 - 胆道疾患：胆石症，胆嚢炎，胆管炎，胆道・胆管癌
 - 膵疾患：膵炎，膵癌
 - 腹膜疾患：腹膜炎，癌性腹膜炎
2. 消化器以外の疾患
 - 中枢神経疾患：脳炎，髄膜炎，頭部外傷，脳血管障害，脳腫瘍，Parkinson 病
 - 内分泌疾患：下垂体前葉機能低下症，甲状腺機能低下症，副甲状腺機能低下症，副腎皮質機能低下症
 - 代謝疾患：重症糖尿病，ビタミン欠乏，亜鉛欠乏
 - 呼吸器疾患：気管支喘息，慢性呼吸不全，肺癌
 - 循環器疾患：うっ血性心不全
 - 腎疾患：腎不全
 - 血液疾患：貧血，白血病，悪性リンパ腫
 - 感染症：急性感染症，慢性感染症
 - 膠原病：SLE など
3. その他
 - 妊娠悪阻，中毒性疾患，薬剤（抗悪性腫瘍薬，鎮痛薬，ジキタリス，アミノフィリン，モルヒネ）
4. 精神・神経障害
 - うつ病，統合失調症，神経性食欲不振

（文献4）より引用）

表3 下剤の種類

種類	薬剤	作用機序	特徴	透析患者への是非
刺激性下剤	センノサイド アローゼン ラキソベロン	腸管蠕動亢進	腸管穿孔の原因となり得る。効果発現は服用後6～8時間後。	投与可能
浸透圧性下剤	酸化マグネシウム マグコロール ニフレック	便量の増加	大腸から吸収されない浸透圧物質を投与し，大腸での水の再吸収を抑制する。	原則禁忌
浸潤性下剤	ビーマス S ベンコール	便移動を改善	界面活性化作用。	投与可能
坐剤	レシカルボン座薬	直腸反射亢進	直腸反射減弱患者に最適	投与可能
浣腸	グリセリン	便移動を改善	肛門病変のある患者には注意	投与可能
膨張性下剤	バルコーゼ	便量の増加	十分な飲水とともに服用し，水を吸収してコロイド状になる。	透析患者では飲水制限あり，服用できない。

論 文：544～546 頁 消化管出血・穿孔の徴候，病態と対策（著者：室谷典義先生）

訂正箇所：544 頁「はじめに」上から5行目

誤：対外循環治療 → 正：体外循環治療

『腎と透析』編集部